

[交通安全の価値を考える]

令和2年*月*日(*)

1 安全運転ができない理由

安全運転が大事であることは誰でも知っているのに、実行されずに事故が発生している。
その理由は何か？ その難しさはどこにあるのか？

☆ 危険認知 … レストランで子どもに「危ないから走らないで！」

- ① 自己過信 … 「私は大丈夫！」 → 食の安全と交通安全
- ② 重要性の認識の欠如 … ありふれた行動（手段）の重要性・危険性の認識
- ③ 他人の危険への無関心 ④ 面倒、疲れる ⑤ 保証がない

2 事故情勢

(1) 死亡事故の減少 → ワースト返上（198人→156人）の目的は何か？

(2) 人身事故件数 … 昨年は5年前に比較して33.1%の減少
・ 減少要因 … 少子化、エコ（HV）

3 安全運転管理の目的

- 企業（会社）が行う安全運転管理とは、経営コストを削減するための活動なのか？
→ そうだとすれば、社員のプライベートな事故やその家族の交通事故には無関心でよいことになるが、それは正しいのか？
- ◎ 安全運転管理とは、コスト削減活動ではない。
社員の安定的な生活基盤を確保することによって企業活動に専念させ、企業実績の向上によって生まれる利益を社員に再配分し、更に実績向上を目指すこと。

4 過失の程度と結果の重大性

- (1) 危険発生可能性 → 被害回復可能性
- (2) 過失の程度と結果に対する責任
 - 滋賀県大津市の事故(R1. 5. 8)
→ 過失の程度と失われた幼児の命、残された心と体の傷
 - ・ 専門家のコメント「偶然が重なり被害が拡大した」 → 命が失われたのは偶然か？

5 交通情勢の現状と重要課題

- (1) 自動車安全機能の急速な進化
 - ※ リスク・ホメオスタシス理論 ~ 交通事故を減らすために必要なものは？
 - ・ 自動車安全性能の急速な進化 … その効果・影響
- (2) 道交法改正 ~ 「ながら運転」の罰則強化 → 新しい運転意識の育成
⇒ 罰則の有無強弱で行動を規制するのではなく、自分の良心に基づいて車を運転することが期待されている。(交通安全の価値を正しく理解、認識すること。)
- (3) 高齢者の急増
 - ① 人口・免許人口 ② 自己過信 ③ 返納制度 ④ 道交法改正 ⑤ 認知機能
- (4) 警察官が交通違反を取り締まる理由
 - ① 一時停止場所不停止
 - ② 横断歩行者妨害違反
→ 新しい交通環境の創出

☆ 交通安全の「安全」とは？